

POLE

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」
第14号 1991, 5, 14

発行

北海道ポーランド文化協会

〒060 札幌市中央区北2西2

道特会館 NDA画廊内

電話 011-221-8672

六月にポーランド週間

講演会、展示会、料理

講習会など多彩なもよおし

本協会では、国際交流ホスピタリ

ティートラストと札幌市国際交流プ
ラザの後援のもとに、第一回の「ポ
ーランド週間」を六月十七日から十
三日間札幌で開催することになりま
した。四月二十六日の運営委員会で
はこの期間中の催しものとそれに関
連する行事について次のように決ま
りました。なお、それぞれの行事の
案内は、本誌の二ページと三ページ
にまとめて示してあります。

x x

●児童文学関係（責任者：斎田道子
さん）

・国際的にも注目されているポーラ
ンドの児童文学を多面的に紹介する。
・六月二十一日の午後にはポーランド
児童文学の専門家である内田リサ子
さんの講演を行う。・ポーランドの
絵本の原画や人形の展示を行う。展
示場所としては札幌国際交流プラザ
と天神山国際ハウスを予定する。

・ウッジの吉田勝一氏が現地の文化

センターの絵画クラブの子どもが描
いた絵（〇一四年生）とポーランド
の小学校の教科書をだいが集めてお
られたので、ただちに日本に送って
下さるよう依頼した。

●音楽関係（責任者：大竹貞さん）

・レコードコンサートとお話（遠藤
道子さん）を中心とした催しものを
考える。・一九二七年からの国際シ
ョパンピアノコンクールの歴代の優
勝者の演奏を取り上げて解説する。
・ショパンコンクールに関係したス
ライドなどを上映して、一九六〇年
代における見聞を中心にショパンコ
ンクールの実際の印象を語ってもら
う。

●ポーランド料理の会（責任者：小
林暁子さん）

・料理講習を通じてポーランドの食
文化の理解と紹介を目指す。・六月
二十六日（水）に婦人文化センター

で行う。・受講申し込みは先着順で
受け付け、定員になりしだい締め切
る。

●ポーランドの時事問題の解説（責
任者：小笠原正明さん）

・北大スラブ研究センターの伊東孝
之さんに講演を依頼する。・ポーラ
ンドの最近の政治、経済の実状につ
いて理解を深める。

●映像芸術関係（責任者：霜田千代
磨氏）

・予定を変更してポーランド週間に
は映像芸術関係の行事は行わない
ことにす。・本年十月七日 山形で行
われるドキュメント映画祭にポーラ
ンドの映画監督が参加する予定なの
で、札幌にも来てもらうことを考え
る。・像関係の行事はその時期に集
中して行うことにす。・そのため
の予算を確保しておくようにす。

x x

運営委員会では、そのほかに札幌
在住のポーランド人に参加と協力を
要請したいことや、ポーラン
ド週間の期間中にポーランド人をふ
くめた交流会を計画してはどうかと
いう意見も出されました。以上の催
しもの以外にも、ユニークな楽しい
案がありましたら遠慮なく本協会展
務局、または小笠原（電話七一六一
二一一一（内線六七四八））までお
知らせください。

「ポーランド週間」行事案内

主催 北海道ポーランド文化協会

後援 国際交流ホスピタリティートラスト

札幌市国際交流プラザ

《講演と展示》

ポーランドの

児童文学

①講演Ⅱ「ポーランドの児童文学

(仮題)

(講師) 内田リサ子氏

(日本における唯一のポーランド児童文学の紹介者。訳書多数)

(日時) 六月二十一日(金)

午後一時三十分より

(場所) 札幌市国際交流プラザ会議

室(中央区北一西三Nビル三階)

(入場) 無料(定員五十名程度)

②展示Ⅱポーランドの絵本とその原

画

(日時) 六月十七から二十九日まで

(場所) 札幌市国際交流プラザ

(入場) 無料

③展示Ⅲポーランドの児童画、人形、その他

(日時) 六月二十日から二十七日まで

で

(場所) 札幌天神山国際ハウス

(豊平区平岸二条十七丁目

一〇〇〇)

一〇〇〇)

(入場) 無料

《レコイト鑑賞と講演》

国際シヨパン

コンクールの歴史

一九二七年からの歴代優勝者のレコ

イト演奏とスライド上映

(お話) 遠藤道子氏(日本シヨパン

協会北海道支部長・北海道

ポーランド協会副会長・大

ハリーナさんを囲む

楽しいポーランド語

●第七期ポーランド語講習会を開きます。水準は初級の中(アルファベットが分かる程度)といたします。

【期間】一九九一年五月十五日(水)～三月二十七日(水)

(毎週水曜日、十週間)

【時間】午後六時三十分から午後八時三十分までの二時間

【会場】北海道クリスチャンセンター

(住所) 札幌市北区北七条西六丁目

(電話) 七三六一三三八

【講師】熊倉ハリーナ先生

【授業料】一万円二千円(十回分)

【申込先】北海道ポーランド文化協会事務局(札幌市中央区北

二条西二丁目 電話 二二二一八六七二)または灰谷

(電話七〇二一四九三九)まで。

谷短期大学教授)

〔日時〕 六月二十五日(火)

午後六時三十分から

〔場所〕 タイムスホール

(中央区南三四アルシユ
六階)

〔入場整理券〕一〇〇〇円

〔後援〕 日本シヨパン協会北海道支
部

部

《講習会》

ポーランド

料理の会

〔講師〕 熊倉ハリーナ

〔日時〕 六月二十六(水) 日午後十
時三十分から午後三時まで

〔場所〕 札幌市婦人文化センター

(中央区大通り西十九)

〔参加費〕 一〇〇〇円(材料代)

〔献立〕 ごはん入りロールキャベツ、
キノコのスープ、トマトサ
ラダー、カッテージチーズの
ソース、イチゴクレープ、
パンと紅茶

〔持参品〕 エプロン、ふきん(のみ)

〔申込み〕 灰谷洋子氏(電話〇一一
一七〇二一四九三九)ま

で、四十名になりしだい
締め切ります。男性の受
講者も歓迎します。

講師) 伊東孝之(北大スラブ研究
センター教授)

〔日時〕 六月二十七日(木) 午後六
時三十分より

〔場所〕 札幌天神山国際ハウス

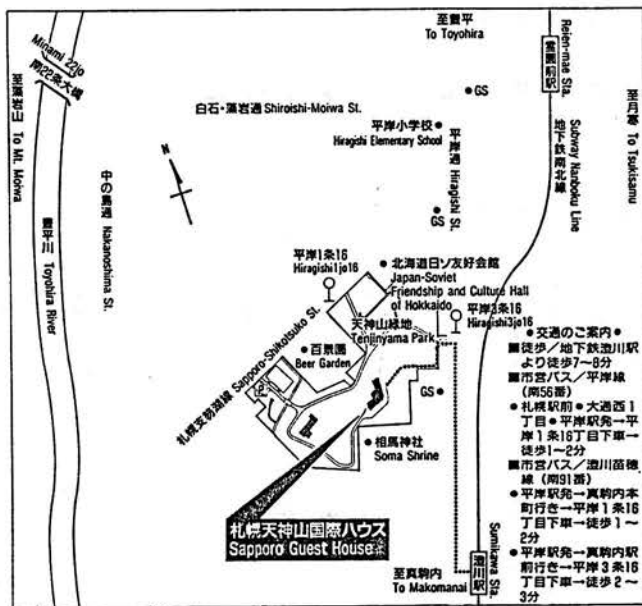
〔入場〕 無料(定員五十名程度)

《講演会》

最近のポーランド情勢

民主主義の実験は

成功するか?



ポーランド日本協会 八年の歩み

本誌十三号でご案内いたしましたように、去る一月十日にポーランド日本協会のウッジ支部の吉田勝一(まさかつ)さんとの懇談会が行われました。席上、吉田さんはポーランド日本協会の歴史と活動についてくわしい報告をされました。以下の記事は、そのときに配布された資料を抜粋したものです。

八つの支部

一九九〇年十月現在、ポーランドには約百六十余名の日本人が生活しています。一九七八年にポーランド日本協会が設立されて以来現在までに八つの支部が発足し、各地域で日本文化の紹介、交流など独自の活動をしています。しかし、一昨年からの経済変動にともない、補助金として支給されていた市や県からの文化予算も全面カットされ、各支部ともに窮地に追い込まれています。

歴史

〔一九七八年十月〕ポーランド日本協会設立
〔一九八一年十月〕ウッジ支部、クラクフ支部、ポズナニ支部発足
〔一九八二年十月〕ウッジ支部日本語講座開設
〔一九八五年四月〕レグニッツァ支部、ワルシャワ支部発足

(一九八八年)シチエチン支部、
カトヴィツェ支部発足
(一九八九年十月)オポーレ支部
発足

多彩な活動

A. 教育文化活動(通年)

日本語講座(一般市民講座)一、
四年。ゼミ。週二回四時間/ウッジ
工科大学教室

日本語講座(ウッジ第三大学)ゼ
ミークラス八人。週一回二時間/教
員会館集會室

日本語講座(ウッジ工科大学)初
・中級、週一回二時間/ウッジ工科
大学教室

書道講座(ウッジ美術大学漢字デ
ザインコース)週一回

書道講座(一般市民、指導者養成)
月二回

おりがみ教室(一般市民、指導者
養成)

B. 一般文化活動(行事、講演会な
ど)

① 日本文化週間(毎年一回テーマ
を決めて一週間実施)

② ウッジ市日本映画祭(毎年一回五
〜六本の日本映画を上映)

③ ウッジ市民文化祭(毎年一回市の
行事に参加)

④ 日本の日講演会(毎月一回テーマ
毎に情報交流)

⑤ その他各種展示会(一九九〇年実
施、書道展、ふみの日展、教科書

展、これが日本人だ展、つつみ展
など)

日本語教室生徒の作文

そろばんきょうしつに

はじめてかよって

ドロータ ラスコフスカ

わたしはポーランドの小学校の八
年生の女の子です。わたしの住むウ
ッジという町は、ポーランドのまん
なかあたりにあります。この町には
ポーランド・日本きょうかいがあっ
て、わたしはこの日本語こうざで
日本語の勉強をしています。

毎年秋に日本文化週間があります。
ことしは第六回目で「日本の学校一
週間」というテーマで日本の学校の
いろいろなじゅきょうをたいけんし
ました。そのなかに「そろばん」の
じゅきょうが一週間毎日ありました。
わたしは「そろばん」ってなんだろ
うと思ひながらさいしょのじゅきょ
うに行きました。きょうしつにはこ
の「そろばん」のじゅきょうのため
に、マルカリアンきみえ先生がロン
ドンからきていました。とてもやさ
しそうな目をした先生です。さいし
よにそろばんのれきしとかつかいか
たをせつめいしてくださいました。

二日目からはそろばんのじゅきょ
うです。きょうしつにはたくさんの
人がきて立ったままきく人もいまし
た。わたしの国にも「リチドウォ」
というそろばんみたいなものがあり
ますが、日本のそろばんとはとても
ちがうことになりました。日本のそ
ろばんはおやゆびとひとさしゆびをじ
ょうずにつかってくるくはじくだけ
でいろいろなけいさんができます。
わたしもはやく先生のようにつけい
さできたらいなと思ひながら毎日
きょうしつに通いました。

一週間かよってかんたんなたしざ
ん、ひきざんができるようになりま
した。きみえ先生はそろばんのもち
方、すわり方などまでこまかく教え
てくださいだったのでとてもわかりやす
いじゅきょうでたのしかったです。
さいごのじゅきょうで、先生はロ
ンドンからもってきたそろばんをわ
たしたちにとて安いねだんで売っ

てくださいだったので、わたしも買うこ
とができました。そして次の日わた
したちはみんな自分のそろばんをつ
かって、一〇級のしけんをうけまし
た。しゅうりょうしきの時、しけん
にごうかくした人も、ごうかくしな
かった人もひとりひとり先生からそ
ろばんの絵はがきをいただきました。
わたしはそろばんきょうしつにか
よってとてもよかったです。もっと
たくさんそろばんのべんきょうした
いのですが、ポーランドにはそろば
んの先生がいないのでできません。
先生またポーランドにきて、そろば
んのつづきを教えてください。どう
もありがとうございます。

X X

(連絡先)

ポーランドー日本協会のウッジ支部
はポーランド国宮ツーリスト協会(PTK)会館内にあります。

Towarzystwo Polsko-Japońskie
Oddział w Łodzi

c/o PTK

ul. Węgury 12A 90-301

Łódź, Poland

TEL 36-43 70

(毎週火曜夕方五時より八時まで、
図書の出、集、案内など、行け
ばかならずだれか(担当者)がい
て、日本のことを話し合っているそ
うです)